

「  
バ  
ー  
タ  
ー  
」

松  
馬  
羊  
志

【登場人物表】

南田 聡 ( 3 5 )      ナンダカンダ・ツツコミ

神田 悠一 ( 3 5 )      ナンダカンダ・ボケ

渡瀬 ( 2 5 )      村役場職員

○無人駅・トイレの前

超田舎の駅。

南田聡（35）が電話をしている。

南田「今、駅です。はい、ギリギリ間に合う  
と思います。はい、はい、では」

スマホにLINEの着信。彼女からだ。

『ちゃんと辞めるって言ってね。営業  
頑張ってるね、パパ！』  
ため息を吐く南田。

○同・出口

南田、改札を出ると神田悠一（35）  
がバス停の前のベンチに寝転んでいる。

神田「おう。南田、お前はいつもウンコ長い  
な。今度ギネス出るよ」

南田「マネージャーから電話だよ」

神田「アイツ、来ないで何て？」

南田「先方が焦ってるってさ」

神田「だったら新幹線代、出せよ」

南田「調べたか？」

神田「あ、忘れた」

南田、バス停の時刻表を見る。

南田「おい、1時間以上来ないぞ」

神田「もう行くの止めね？」

南田「仕事だぞ、神田」

神田「どうせサンドさんのバーターだろ？」

南田、スマホの地図を検索して。

南田「歩けばギリか……」

○道

車通りもなく建物もない。

歩く南田・神田。

神田「足痛い。無理だ、無理だ」

南田「……」

神田「大体、お笑いっておかしいよな。持ち

時間5分ためによ。移動に5時間ってさ。

笑えねえよ」

南田「ネタ、合わせておくか？」

電柱に夏祭りのポスターを見つける。

お笑いステージ。サンドヨンドと言う

お笑いコンビの写真が大きく映っている。「出演・サンドヨンド、他。」と記載。

神田「俺たちの改名したっけ？いつから他になった？」

南田「どもーナンダカンダです。私がナンダで……」

神田、鼻で笑い、

神田「どうせ、誰も聞いてねえーよ」

と神田歩き出す。

南田「……」

× × ×

息を切らせながら歩く南田・神田。

神田「なあ、ウンコ」

南田「だからさつき行っておけって！この前だって本番直前に」

神田「（遮って）漏れる漏れる。漏れたら営業無理だぞ。それかウンコ付けたまま上がついていい？そしたら俺らの事、少しは見るか？」

南田「あ、あれ」

離れた所にドライブインの看板。

走り出す神田。

○ドライブイン

立ち尽くす南田・神田。

ドライブインは潰れている。

神田「あ、もう顔が出てるよ！お母さん」

南田「あゝ、あっちの茂みでして来い」

神田「35にもなって野糞かあ」

南田「神田」

神田「ん？」

南田、ポケットティッシュを渡す。

神田「さすが」

神田、茂みの中に消えていく。

南田のスマホが鳴る。

南田「もしもし」

女の声「お父さんの知り合いの社長さん、雇

ってくれるって」

南田「そっか……」

女の声「芸人なら、営業トークも上手だろう  
って。良かったね」

南田「お父さんに、ありがとうって」

女の声「うん。それと……ちゃんと言うんだ  
よ」

南田「わかってる」

○茂み

パンツを上げスッキリした表情の神田。  
カブトムシを見つけて、取ろうとする。  
が、足を滑らせて崖に落ちる。

神田「うわー！」

○ドライブイン

電話を切る南田。

神田の声「うわー！」

南田「神田？」

南田、茂みの方へ走り出す。

○茂み・崖

南田「崖下を覗き込む。」

泥だらけの神田居る。」

南田「神田よ、お前はいつもこうなるんだ？」

神田「お笑いの神様が憑いてるんだよ」

南田「手を伸ばす。」

南田「ほら」

神田「いつも、世話になるね」

南田「俺、俺さ……あのな……」

神田「解散したいんだろ？」

南田「え？」

神田「もっと手を伸ばせ」

南田「どうして」

神田「就活してたろ？」

南田「え？」

神田「彼女だろ？」

南田「……」

神田「そんなつまんねえ人生でいいのか？糞

だよ。ウンコ。ほら、届かねえよ。手を伸

ばせて」

南田「じゃ、ポスターのその他扱いが面白い



人生なのかよ。お前が伸ばせよ」

南田と神田の手が繋がる。

神田「お前の糞人生よりはな。引っ張れよ！」

南田「引っ張ってるだろ！12年だぞ！こんな状態が！お前だって、全然ネタ書かなくなっただじゃないか！上がろうとしろよ！」

神田「アイデアはな、いつも降りて来るもんじゃねえーんだよ！」

南田「営業だって、いい加減やりやがって！」

神田「いい仕事入れて来ねえーからだろ！」

南田「そればかりだ！上がろうとしてる？」

神田「してるよ！どこ行っても誰も見てねえじゃないか！こんなんでどうやって上がんだよ！」

南田「チャンスはあったんだよ！俺たちは、

みすみす逃して来たんだろが！」

神田「……」

南田「もっと筋肉つけろよ」

南田、力いっぱい引き上げる。

南田「クソッ、手が滑る」

神田「知ってると思うけど、俺、手洗ってたな  
いから」

南田「汚ねえーな。手離すぞ！」

南田、やっと神田を引き揚げる。

息が上がり倒れ込む二人。

南田「子供が出来たんだ」

神田「くだらねえ」

神田、立ち上って行ってしまふ。

### ○道

無言で歩く二人。

すると、前方から車がやって来る。

来るから、渡瀬（25）が降りて来る。

渡瀬「ナンダカンダさんですよね？」

南田「はい？」

渡瀬「良かった！私、夏祭り実行員の渡瀬で

す。迎えに来ました」

### ○車・車内

渡瀬が運転する車。

後部座席に南田と神田。

南田、神田、顔を合わせる事なく窓の外を見ている。

渡瀬「いや、遠かったでしょ？」

南田「まあ……」

渡瀬「サンドヨンドが来てくれるってなって、委員会のみんな、凄い喜んじゃって。あんな売れっ子がこんな僻地に？って」

神田、呆れ顔。

渡瀬「で、その他で数名来てくれるってなって、バターって言うんですか？業界では？」

南田「バターですかね」

渡瀬「ああ、それです。バター。でそのリストがあって」

南田、ため息。

渡瀬「ナンダカンダって名前があったから、みんなどんな人だ？って言うんですよ」

南田、窓の外を見ている。

渡瀬「頭来ちゃって。僕、大ファンなんですよ。YouTube、毎回欠かさず見てますし。あ

のファミレスのネタ最高ですよ。今日は  
どのネタやるんですか？」

南田と神田、じっと窓の外を見ている。

神田「（ボソっと）どもーナンダカンダです」

南田「（ボソっと）私がナンダで」

以下、二人ともボソっと。

神田「私がカンダ」

南田「二人合わせて」

南田・神田「ナンダカンダです」

神田「まあ、なんだかんだ言っちゃってます  
けど、僕、ファミレスの店員がやりたくっ  
てね」

南田「いや、君には無理よ。あれは意外と難  
しい……」

## ○道

会場へと走る車。

△終わり▽